

フォーユー新聞



発行：奉優会
総務部人事課
企画事業推進室

44号（平成23年4月発行）

平成23年度 入職式が開催されました。

今年度は23名の新入職員が奉優会に入職いたしました。新入職員のみなさんは、4/1～4/15までの合同研修と配属式を終えたら、4/18より各所属部署に配属されます。



●新入社員誓いの詞
代表 佐々木晶職員（写真右から二人目）

●先輩社員歓迎の詞
平成22年度入社
仲町テイ 酒井職員（写真左）

●食事会
入社後の、先輩社員を交えて食
事会が開催されました。

東日本大震災について

3月11日に発生した東日本大震災で亡くなられた方がたのご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

この度の地震を受けての当法人の被害状況と対応は次の通りとなっております。

対策本部の発足と取り組み	「奉優会防災計画」に則り、対策本部を発足させ、各施設・事業所の情報収集、ご利用者及び職員の安否確認を優先して取り組みました。 電話が不通となったため、グループウェア（NIコラボ）を活用し、各拠点の情報共有及び対策本部からの指示・情報発信に努めました。
運営拠点・建物等の被害状況	エレベーターの停止、停電、断水する施設・事業所が多数ありました。また、いくつかの事業所において、壁面の亀裂やひび、ドアロック不備などの建物破損が発生しました。
法人の対応、取り組み	可能な限り通常通りの運営ができるよう、各事業所において努めました。 また、目黒区高齢者センター等で、帰宅難民の受け入れ施設として職員が宿泊し自治体職員と協働し対応しました。 地域包括支援センターでは、エリア内の独居高齢者などを訪問、安否確認等を行いました。
被災者支援	特別養護老人ホーム等々力の家とかわいの家においては、被災地の特養入居者をそれぞれ2名の受け入れができるよう調整し、自治体へ申し出ました。
その他	災害用伝言版サービス、eメール、グループウェア等のあらゆる手段で連絡・情報把握ができるようにしました。 法人全体の緊急連絡網を更新・配信し、その後、各事業所の緊急連絡網の作成と見直しをお願いしています。

今後も、緊急時に備え「奉優会 防災計画」や「緊急時対応マニュアル」を再確認し、災害発生時に私たち職員が円滑に役割を果たせるよう、日ごろから準備をしておきましょう。

香取 眞恵子理事長より

もうじき桜の季節と申しますのに、お寒い日が続いております。3月11日に発生した東日本大震災は本当に驚きの悲しい出来事でした。被災された皆様にはお見舞いを申し上げますとともに、亡くなられた方々のご遺族には心よりお悔やみ申し上げます。

この2週間は悲惨な情景が次々に報道されるテレビの画面から一刻も目が離せない状況が続きました。大地震と大津波、続いて起きた原子力発電所の事故、避難所の困り果てた人々の様子が映し出されました。私たちが住む関東地方にも度々の余震が続き、計画停電がありました。そして被災地はすぐボランティアの活動が積極的、自然発生的に始まりました。

次々に届く多くの救援物資、そして募金活動の数々。

お困りの方々がもっと困らないようにと「精一杯力になりたいという思い」が伝わって参りました。この姿はまさしく私たちが日ごろ目指している「福祉のあるべき姿」だと感じました。多くの人々がこの大震災を機にお互いに助け合い、またコミュニケーションしつつ、子どもや高齢者や障害者等、弱い方々に対して、それより少し健康な高齢者や一般の私たちが力になったり助け合ったりしていました。「人の力になれる喜びを体験することで、共に地域で生きていくことが当たり前前の心の通う社会になれるのではないか」と思います。この災害を受けた私たち日本人だからこそ持つ大切な理念やポリシーの基本に繋がればと、心から願わずにいられませんでした。

平成23年3月23日

社会福祉法人 奉優会 理事長 香取 眞恵子